

人間総合科学学術院 人間総合科学研究群
スポーツウエルネス学学位プログラム博士後期課程
教員研究分野一覧

教員名	【専門研究領域】 研究内容	教員名	【専門研究領域】 研究内容
 山口 香 教授	[①スポーツシステムマネジメント ②コーチング学] ・競技者育成 ・指導者育成 ・タレント発掘 ・一貫指導 (セカンドキャリアを含む) ・女性スポーツ ・競技団体マネジメント	 久野 謙也 教授	[①スポーツ・運動とヘルスプロモーション②健康政策] ・中高齢者の健康増進 ・地域・職域における健康政策 ・生活習慣病および介護予防 ・サルコペニアおよびサルコ ペニア肥満の予防 ・健康づくり無関心層の行動変容策の開発 (令和10年3月31日定年退職予定) ・地域コミュニティ (ソーシャルキャピタル)と 健康健康な都市づくり ・ヘルスケアビジネス ・人材育成
 笠野 英弘准教授	[①スポーツプロモーション②スポーツ社会学 ③スポーツ組織論] ・スポーツ組織の自立 ・愛好者の組織化 ・スポーツの公共性 ・スポーツガバナンス	 柴田 愛 教授	[①ヘルスプロモーション②健康行動疫学③応用運動科学] ・中高年の身体活動・運動推進および座位行動改善に関する研究 ・ソーシャルマーケティングに基づく効果的な健康行動普及法の開発 ・介護予防プログラム (特に、運動器の機能向上、運動器疾患対策)の開発と評価
 安藤 梢 助教	[①プロスポーツマネジメント②トレーニング論] ・プロスポーツ ・国際比較 ・データコーチング ・競技力向上	 辻 大士 助教	[①運動・スポーツ免疫②公衆衛生学③メンタルヘルス] ・地域・集団レベル要因と健康 ・健康格差、健康の社会的決定要因 ・地域づくり型介護予防の推進 ・被災地の健康支援 ・大学生のスポーツ活動とメンタルヘルス
 清野 隼 助教	[①ライフサイエンス②スポーツ科学] ・ハイパフォーマンス ・コーチング ・スポーツ栄養 ・競技力向上 ・競技団体マネジメント ・eスポーツと教育		

※博士後期課程:出額にあたって志願者は必ず志望する教員と事前に連絡を取ってください。
教員の連絡先はhttps://www.office.otsuka.tsukuba.ac.jp/program/sport-wellness_doctor/をご確認ください

後期課程情報



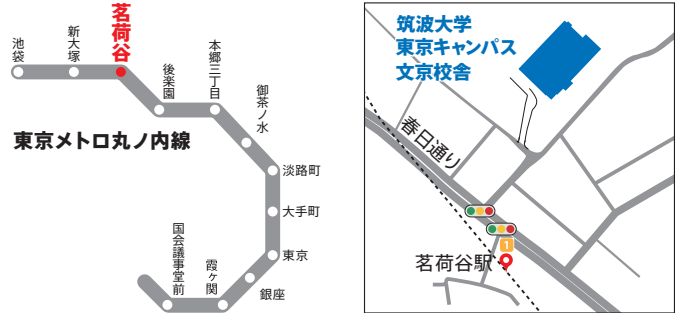
東京キャンパスWebサイト
<https://www.office.otsuka.tsukuba.ac.jp/>



入試情報
<https://www.office.otsuka.tsukuba.ac.jp/examinee/>



スポーツウエルネス学
学位プログラム(博士後期課程)
https://www.office.otsuka.tsukuba.ac.jp/program/sport-wellness_master/



■アクセス
東京メトロ丸ノ内線
「茗荷谷駅」下
出口から徒歩3分

お問い合わせ先
筑波大学社会人大学院等支援室 TEL.03-3942-6918 mail:businessentrance@un.tsukuba.ac.jp

入試情報・募集要項などはこちらから <http://www.office.otsuka.tsukuba.ac.jp>



筑波大学
University of Tsukuba



日本の未来を担う スポーツと健康のプロフェッショナルへ
人間総合科学学術院人間総合科学研究群

スポーツウエルネス学
学位プログラム

博士後期課程

人間総合科学学術院 人間総合科学研究群

スポーツウエルネス学学位プログラム博士後期課程

社会的要請・課題等

スポーツ庁の設置や我が国の健康寿命延伸のために政府各機関、シンクタンク、競技団体、地方自治体等の今後の幹部候補生として、スポーツあるいはヘルスプロモーション分野の博士レベルの高度専門職業人の養成が急務となっています。

指導の特色

1人の学生に対して3名のアドバイザーグループ（本学位プログラム教員から2名、客員教員：メンター教員、研究指導教員など）を設置し、複数指導体制を整えています。また、必要に応じて外部有識者やOB・OG教員を招聘してアドバイスを受けることができますようになっています。入学から学位授与までのプロセスを明確にして、段階的な研究指導を実現しています。

人材養成目的

1) 博士レベルの高度な研究力を保有したうえで、2) イノベーションが必要な難度の高い課題解決を推進できるマネジメント能力を併せ持つ高度専門職業人を養成します。

育成される人材

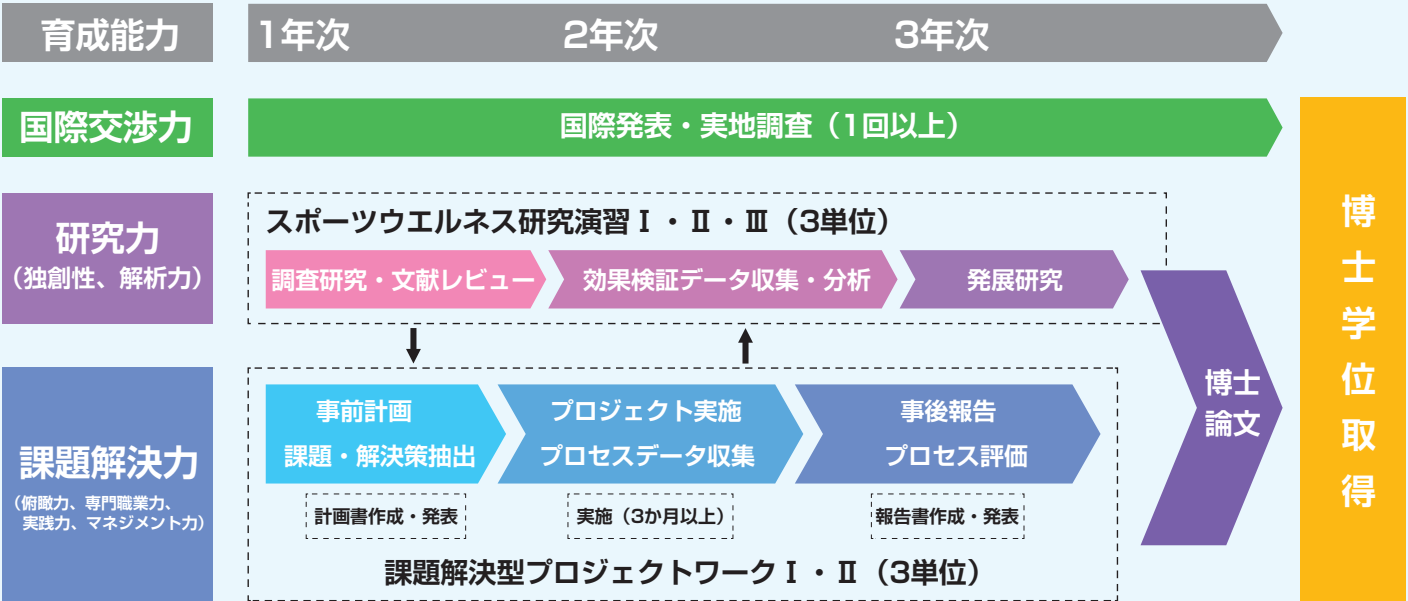
- 本領域において、国際機関等のグローバルなレベルで日本を代表して調整を行える人材
- 政府及び関連機関、地方自治体等において、課題解決プロジェクトの推進リーダーを務める人材

修了生の活躍の場

政府各機関、関連シンクタンク、競技団体、地方自治体等の幹部もしくは幹部候補生として活躍することが期待されます。

授業科目等の特色

東京キャンパスの社会人大学院のマネジメントに関連する授業科目、さらに独自の課題解決型プロジェクトワークを修了要件の単位としています。



2つの具体的課題等

- ①スポーツの国際競争力の向上(国際的な交渉に苦戦)
- ②スポーツによる健康寿命の延伸と社会保障費抑制への貢献

学位授与の方針

- 課題解決型プロジェクトワークの合格(マネジメント力の確認)
 - 博士論文の合格(研究力の確認)
 - 必要単位の取得(専門性の確認)
- 以上3つすべての要件を満たすことが学位取得には必要です。

課程修了(学位)

博士(スポーツウエルネス学)

(名称の理由) スポーツプロモーションとヘルスプロモーション相互の合理的な関係による相乗的な効果を活かす人材であることを証明しています。

教育課程編成・実施の方針

俯瞰的な視野と柔軟な思考力を有し、様々な領域の人材とチームを組んで課題を解決する能力及び最先端の研究技法を駆使して、グローバルなレベルで問題解決できる能力を育成するための教育課程を編成しています。

学位プログラムの運営体制

- 研究指導担当6名、授業担当2名、学外組織から客員教員を招聘して、研究指導は、主指導教員（1名）と学内外のメンター教員（2名以上）の複数指導体制となります。
- 学位プログラムリーダー、副リーダー、教育担当、学生担当等学位プログラム設立条件となる教員数以上を担当教員とする運営体制を構築しています。

後期課程 博士号取得者

令和7年度 博士号

梶原 侑馬 さん
株式会社NTTデータ経営研究所
博士論文題目
母子保健における保健師・自治体職員の意識変容・行動変容プロジェクト

平野 加奈子 さん
公益財団法人日本バドミントン協会 ナショナルチーム
博士論文題目
女性エリートコーチのコーチングと育児の両立に関する課題解決に向けた実践コミュニティの形成

青柳 勸 さん
水球シンガポール代表
博士論文題目
シンガポール男子水球代表選手を対象とした経済的支援制度の導入と実証的評価ー公共福祉型スポーツ支援モデルの制度的可能性と持続性に関する実践的考察

高谷 惣亮 さん
拓殖大学教員・同大学レスリング部監督
博士論文題目
男子レスリング競技における映像分析の推進と活躍に向けた基盤形成

入試情報（募集人員 3 名）

○入試日程

資格審査受付期間：令和8年9月1日（火）～9月5日（土）

入学願書受付期間：令和8年9月15日（火）～9月26日（土）

○入学試験

第1段階選抜 合格発表：令和8年10月16日（金）

第2段階選抜（外国語試験・口述試験）：令和8年11月7日（土）

合格発表：令和8年12月4日（金）

※第2段階選抜 配点：書類審査80点、外国語試験（TOEICスコアで代替）40点、口述試験80点

年間スケジュール(2学期制)

月	学期区分	授業時間	
		火～金曜日	土曜日
4月～7月	春 学期	第 2 時限	10:20—11:35
8月～9月	休み（夏）	第 3 時限	11:45—13:00
		第 4 時限	13:45—15:00
10月～1月	秋 学期	第 5 時限	15:10—16:25
		第 6 時限	16:35—17:50
2月～3月	休み（春）	第 7 時限	18:20—19:35 18:20—19:35
		第 8 時限	19:45—21:00

※後期課程の演習はフレキシブルに指導教員と時間を決定します。

後期課程 主な修了生の活躍

- 1 期 塚尾 晶子

株式会社つくばウエルネスリサーチ 取締役
- 和久 貴洋

国立スポーツ科学センター 副センター長、筑波大学 教授(連携大学院)
- 2 期 浅川 伸

日本アンチドーピング機構 専務理事
- 塚本 拓也

中京大学スポーツ科学部 准教授
- 3 期 更科 枝里

株式会社Global Wellbeing 代表取締役
Pilates Coodination Academy(PCA)主宰
Orange College 日本事務局 カントリーマネージャー補佐
株式会社Global Bridge COO
- 4 期 木原 慎介

東京国際大学 人間社会学部 教授
- 5 期 田丸 尚稔

一般社団法人渋谷ユナイテッド 専務理事
- 若松 朋由

株式会社つくばウエルネスリサーチ
- 6 期 山下 修平

日本スポーツ振興センター ハイパフォーマンススポーツセンター
ハイパフォーマンス戦略部開発課 課長
国立スポーツ科学センタースポーツ科学研究部門 副主任研究員